

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
式の計算	・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を使った式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解している。 ・目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	・具体的な数の計算やこれまでに学んだ計算のしかたと関連づけて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算のしかたを考え、表現することができる。 ・文字を使った式を具体的な場面で利用することができる。	・文字を使った式のよさを実感して粘り強く考え、文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を使った式を利用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
連立方程式	・2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。	・1元1次方程式と関連づけて、連立2元1次方程式を解く方法を考え、表現することができる。 ・連立2元1次方程式を具体的な場面で利用することができる。	・連立2元1次方程式のよさを実感して粘り強く考え、連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、連立2元1次方程式を利用した問題解決の過程をふり返って、評価・改善しようとしていたりしている。

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 次関数	・1次関数について理解し、事象の中には1次関数としてとらえられるものがあることを知っている。 ・1次関数の関係を表、式、グラフなどに表すことができる。 ・2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。	・1次関数としてとらえられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考え表現することができる。 ・1次関数を使って具体的な事象をとらえて考え、表現することができる。	・1次関数のよさを実感して粘り強く考え、1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、1次関数を利用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりしている。
図形の性質の調べ方	・平行線や角の性質を理解している。 ・多角形の角についての性質を見いだすことができる。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 ・図形の性質や合同の関係を、記号を使って表すことができる。 ・合同などの図形の性質を使って線分の長さや角の大きさを求めることができる。	・三角形の合同条件などをもとにして平面図形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。 ・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ説明することができる。 ・平面図形の基本的な性質などを具体的な場面で利用することができる。	・平面図形の性質や証明のよさを実感して粘り強く考え、平面図形の性質や証明について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質や証明を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりしている。
三角形・四角形	・三角形と四角形に関する定義と定理及び逆について理解している ・証明の意義を理解している。	・三角形の合同条件などをもとにして三角形や四角形の基本的な性質を証明したり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりできる。	・証明のよさを実感して粘り強く考え、三角形と四角形について学んだことを生活や学習に生かそうとしたりしている。

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
確率	・多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることができる。	・同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考えて表現することができる。 ・確率を利用して不確定な事象をとらえて考え、表現することができる。	・場合の数をもとにして得られる確率のよさを実感して粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、確率を利用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
データの分布	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を使うなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。	・四分位範囲や箱ひげ図を使ってデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	・四分位範囲や箱ひげ図のよさを実感して粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしていたりしている。